

# 臨床病理論6

火曜4限

医療経営学科

研究室 7階 第5研究室

江原 朗

# 進行性病変の例

- 肥大：臓器や組織の体積・重量の増大
- 再生：なくなった組織がもとに復帰
- 化生：もとと異なった細胞で置き換え
- 創傷治癒：傷口が治ること

# 肥大

- 肥大

- 單純肥大

- 數的肥大

- 數的肥大（過形成）

# 肥大の代表例

- 生理的肥大：運動選手の筋肉など
- 病的肥大
  - 機能的性：心肥大
  - 代償性肥大：片腎摘出後の残った腎
  - 内分泌性肥大：巨人症
  - 仮性肥大：筋ジストロフィー
  - 特発性肥大：特発性心筋症

# 過形成

- 組織や臓器を構成する細胞の分裂により、細胞数が増加して、容積や重量が増大した状態

# 過形成の代表例

- 生理的過形成：妊娠中の子宮、乳房
- 病的過形成
  - ホルモン過剰分泌：バセドウ病
  - 性ホルモン不均衡：前立腺肥大症
  - 二次性：腎不全時の上皮小体機能亢進
  - 原因不明：多毛症

# 再生

- 組織が欠損した時に同じ細胞で元通りにする
- 再生能力
  - なし: 中枢神経、心筋細胞
  - 弱い: 腺上皮(胃潰瘍)、  
骨細胞(骨折後)
  - 強い: 血球、表皮、粘膜、毛細血管

# 化生

- 固有臓器ではなく、異なった種類の細胞で置き換わること
- 腸上皮化生：胃粘膜の円柱上皮が腸型の円柱上皮に置き換わること
- 仮骨性筋炎：馬に乗る人の乗馬骨

# 創傷の治癒

- 一次性治癒：  
    癒痕を残さない治癒
- 二次性治癒：  
    肉芽組織が形成され、癒痕形成

# 異物処理

- 排除（吸収、貪食）：リンパ球やマクロファージが貪即して融解処理や肉芽腫に
- 被包、器質化：分解・吸収できないときは肉芽組織で覆い、線維組織に置換